

## 中播磨新地域ビジョン骨子案の修正について

### 1 柱立て

#### (1) 基本姿勢

- ・「人」と「地域」がそれぞれの個性を生かしながら輝くことを基本としながら、分かりやすさに配慮した変更案を作成
- ・現行案に変更案を加えて、ビジョンを語る会等において比較検討

#### (2) 将来像、取組の方向性

##### ①将来像

- ・4つの将来像（交流、活力、つながり、ふるさと）は変更なし

##### ②取組の方向性

###### 《分野の括り方》

- ・「多文化共生」分野の方向性を「交流」から「つながり」の将来像に移動
- ・「交流」の将来像に、新たに「情報発信・魅力発信」分野の方向性を追加
- ・「つながり」の将来像において、関連性の高い「地域福祉」分野と「健康づくり・医療」分野の方向性を統合

→方向性の数は変わらず16のまま（1増1減）

###### 《キャッチコピー》

- ・すべて動詞で終わるよう修正（具体的な行動につなげる）
- ・全体的にできるだけ柔らかく目を引く表現に統一（○○！○○する）

### 2 骨子案

- ・上記柱立ての変更に伴い、記載内容（キャッチコピー、文章表現等）を修正
- ・本ビジョンに基づく取組とSDGsとの関わりが分かるよう、各取組の方向性に関するSDGsの目標のアイコンを表示
- ・その他前回会議で指摘のあった点等を踏まえて修正

※資料3（柱立て案）、資料4（骨子案）において、前回会議で提示した案からの変更箇所は赤字で表記